

こんなまちに

私が生まれ育った向日市。向日市からもだんだん緑が減ってきたようだが、向日市に対する願いや夢をいうなら、緑を減らさず、排気ガスをばかしの空気にしないでほしい。私はこれ以上、向日市の竹林・緑を減らさないでほしい。むしろ、植林でもやってほしい。その木を市民の私たちが大切にやって行くべきではないか。

「将来の向日市の町づくり」希望と夢



乙訓中 駒井有子
◆今、向日市はとも住みよいまちです。静かで空気もよい。一人ひとりが気をつけて向日市をよりよいまちにするためにみんな心を一つにしてがんばっていきましよう。

短信

コーナー

◆募集して下さ
「俳句の会」を毎月一回開催しています。この会はほとんど未経験者の集りです。俳句に興味のある方、お気軽にお越しください。

新着図書のご案内

中央公民館図書室

悲恋中宮

安西 篤子著
この小説は、関白藤原道隆の娘として一条帝の中宮となり、帝の寵愛をうけて、一時は華やかな脚光を浴びながらも、権力が道長に移ったために悲運のうちに若くして没した定子(ていし)の運命を描いた長編である。定子が一条帝の後宮に入ったのは正暦元年十四歳のときである。三つ年下の帝との御仲は極めてむつまじかったが、権力の座をねらう道長は、この二人についても情報網をめぐらすため、彼の情人だった左京を定子の女房として仕えさせる。

血族

山口 謹著
作者自身が実名で登場し、母親を中心一族の出入りの秘密にいとんだ小説。物語は「私」が一家のアルパムに感じた関心と疑念からはじまる。前半部は「私」の回想を中心としながら、折りふれて生じてきた疑念が



この作品はその左京の

書かれてはいるが、後半に至ってその疑念が徐々に解かれていく。そのきっかけの一つは、旅館の出身だといわれていた母が実は遊廓経営者の出身だとわかったことである。執拗で丹念な探案と調査がはじまる。
◆日本商人事情
深田 祐介著
昭和三十年前後の頃から本格的に始まった貿易戦争で日本は勝ったというのが著者の持論であるが、その陰には先兵として単身他国へ入り込み、果敢に売り込み戦線を戦った個々の日本人たちがいた。彼らの壮烈とも悲愴ともいえるべき戦いのあつとを、幾人かの人物に会



またここにみえる成功者像から、著者が昨今、これからの日本社会で重要視されるのは変り種やちょっと異質の人間であると主張している理由のみみこめてくる。
◆中国女性史
小野 和子著
「女子と小人は養ひ難し」とされ、「要った妻と買った馬は騎らうが鞭打とうが思いのまま」と

選ばれた十人の事例を説くうちにもう一つの日本戦後史が浮んでくる。
◆通動快速殺人事件
森村誠一著
◆巷の奇人たち
藤本義一著
◆事故
松本清張著
◆うさぎの目
灰谷健次郎著
◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著
◆完全犯罪研究
佐野洋著
◆六輪七転八倒
永六輔著
◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

点字図書コーナー

中央公民館図書室では、目の不自由な人のために、点字図書と録音テープを設けています。現在、図書室には、京都ライトハウス

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

中央公民館図書室では、目の不自由な人のために、点字図書と録音テープを設けています。現在、図書室には、京都ライトハウス

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

中央公民館図書室では、目の不自由な人のために、点字図書と録音テープを設けています。現在、図書室には、京都ライトハウス

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

田次郎著 ◆通動快速殺人事件
森村誠一著 ◆巷の奇人たち
藤本義一著 ◆事故
松本清張著 ◆うさぎの目
灰谷健次郎著 ◆犬と麻ちゃん
阿川弘之著 ◆完全犯罪研究
佐野洋著 ◆六輪七転八倒
永六輔著 ◆私の渡世日記
上・下
高橋秀子著

Calendar table with dates from 15th to 31st, listing various events like health checkups, lectures, and community activities.